

I 心機一転・新たな挑戦を！

魂を揺さぶる言葉

加藤 弘士
スポーツ報知
編集委員

心が沈みそうな時、スマホの画面に目をやると、エースの談話にハッとしました。1月26日の夕刻。ネットニュースは水戸一高・小川永惺（ひさと）投手のコメントを伝えていた。

「悔しいけど、自分としては、負けて甲子園に行きたくなかった。プラスに捉えるなら、逆に選ばなくてよかったとも思った」(スポーツ報知Web版)

魂を揺さぶる言葉だ。甲子園のマウンドまであと一歩だったのだ。悔しくないはずがない。しかし大勢の報道陣を前に、背番号1は敢然と言いつつ。

泣けてきたよ。すげえな、水戸一高。

* * *

濃密なアウト・オブ・シーズンだったと思う。昨年12月8日、センバツ21世紀枠の関東代表校に選出されると、地元メディアだけでなく東京からも多くの報道関係者が三の丸のグラウンドを訪れ、木村優介監督や一高ナインの生の声を拾った。

高校野球史において重要な位置を占める、文武両道の伝統進学校。創意工夫を重ねて、放課後の短い時間、集中した練習を繰り返し、秋季大会の県4強に躍り出た彼ら彼女らの奮闘を各紙は様々な角度で報じた。

取材を終えて帰京した他紙の記者は私の顔を見ると、異口同音にこう言った。

「水戸一高は凄いですよ。あれほど『自分の言葉』で話せる高校生の野球部員は、なかなかいませんから」

津田誠宗主将は立場上、チームの思いを代弁する立場にあった。日頃、トップアスリートと接し、その思考に触れ、言語化することを生業とするメディア人たちが「あのキャプテンは特に素晴らしい」とその言葉力にうなっていた。

ある記者は「水戸一高の選手からは慶應高校の優勝メンバーに近い匂いを感じる」と言った。昨夏の甲子園で107年ぶりの全国制覇を成し遂げた『陸の王者』も選手たちが主体性を持って『考える野球』を標榜し、実践していた。

一高ナインが従来の高校野球にありがちだった「指導者にやらされる練習」ではなく、「自ら課題を見つけ、克服に取り組む練習」へ心血を注いでいることは、放課後の数時間、暗い照明の下、グラウンドを見つめていれば分かる。

昨秋の県大会準決勝で常総学院に敗退後も、一高ナインは「甲子園で勝つこと」を目標に掲げ、鍛錬に没頭した。候補校であることの恍惚と不安は、彼ら彼女らが同準々決勝で強豪私学の常磐大高に1-0で勝利し、自らつかみ取ったものだ。選出はならなかったが、成長につながる素晴らしい経験をしたと思う。

他人と過去は変えられないが、自分と将来は変えられる。だから一高ナインの春と夏が楽しみでならない。

* * *

2月15日の放課後。選手たちと2時間、ざっくばらんに語らう機会があった。1年生の岡野梨渚マネージャーが「1・26」の裏側を教えてくれた。

落選の報に接した岡野マネージャーが「悔しいなあ」と落ち込んでいると、小川がこう言ったという。「俺が甲子園に連れて行ってやるよ」

どこまで魂を揺さぶる言葉なのかー。

選手のみなさん、君たちは私たち卒業生の誇りだ。これからも、もっともっと応援させていただきます。最高に熱い夏にしようぜ。

◆加藤弘士(かとう・ひろし)
1974年4月7日、水戸市生まれ。49歳。渡里小、茨城中、水戸一高、慶應義塾大学法学部法律学科を経て、97年報知新聞社入社。プロ野球、高校野球取材歴21年。野村克也、桑田真澄らの番記者を経験。著書に「砂まみれの名将野村克也の1140日」(新潮社)。



プレッシャーに打ち勝ってその先へ

津田 裕司

硬式野球部父母の会会長



三の丸倶楽部の皆様におかれましては、日頃より水戸一高硬式野球部に対しご支援、ご声援を賜るとともに、私も父母の会の活動に対してもご指導、ご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

さて、水戸一高野球部にとって大きなニュースがあったオフシーズンが過ぎ、また高校野球の季節がやってきました。

部員たちは、センバツ大会21世紀枠関東地区候補校に選出されたこと、しかし、甲子園出場を逃したこと、これら全てを今後の糧とし、再び甲子園を目指してくれるものと期待しています。

昨秋の大会では、部員たちの成長を確認するとともに、野球部が多くの方々に支えられていることを改めて実感しました。

難しい地区予選を乗り切り、県大会3回戦、4回戦とコマを進めるにつれ、平日にも関わらず、スタンドには多くの方がつめかけ、試合ごとに熱い応援をいただきました。

準決勝だったと思います。息子が水戸一高のOBという女性から声をかけられました。息子さんは野球部だったわけではなく、ご自身もそれほど野球に興味があるわけではないとのことでした。それでも今回は、グラウンドで奮闘する息子の後輩たちをぜひ応援したいと、初めて球場に足を運んだとのこと。

今は県外に住む息子の分まで応援するから、との言葉をいただきました。

部員たちには、たくさんの人に支えられていること、自分が気づかないような遠くからでも見ていてくれる人がいることを常に心に置いて、日々の活動に臨んでほしいと思います。

一昨年末、公立中高校の部活動運営方針の見直しが行われた際には、木村監督をはじめ先生方やOBの先輩方が、部員たちが野球を続けられるようにと奔走してくださいました。現在、一定の制限下とは言え、これまでと変わらない環境で野球ができることも、部員を見守ってくださる先生方や先輩方の支えがあるからにほかなりません。

今シーズンは、周囲から高い期待を受けながらの戦いとなります。この期待とプレッシャーに打ち勝つための練習を、冬の間に十分積んでいるものと思います。一人一人がそれぞれの力を存分に発揮し、昨年以上の結果が得られることを期待しています。

長い歴史がある水戸一高硬式野球部ですが、一人の部員が現役の高校野球選手として野球に打ち込めるのは短い時間です。部員たちには、多くの方に支えられていることに感謝しながら、悔いのない時間を過ごしてほしいと思います。

我々父母の会会員も、高校球児の親としての短い時間を精いっぱい楽しみつつ、水戸一高硬式野球部をしっかりとサポートしてまいりたいと考えておりますので、三の丸倶楽部の皆様には引き続きご指導いただきますようお願いいたします。



チームの「指摘者」として

ーコーチ就任のごあいさつー

渡辺 敏崇

コーチ（常陽銀行）



【就任経緯】

これまでの野球経験で培った試合運びや技術を、これからの茨城県の野球を担う次世代の為にしっかりと継承していきたいと従来から考えておりました。そうした中、コーチ就任のお話を頂き、木村監督をはじめとした水戸一高野球部に携わる全ての方に「感謝と恩返し」をしたいと思い就任することを決意しました。

【球歴】

○山方中学校 <主将 投手・内野手>

○水戸商業 <主将 内野手>

春：関東大会ベスト4 夏：県大会準優勝

秋：関東大会ベスト8

○帝京大学 <副主将 捕手・内野手>

首都大学選抜、盗塁王3回

○常陽銀行 <主将、監督 投手・捕手・内野手>

天皇杯：ベスト4 国体：準優勝(2019茨城国体)

【指導方針】

「指導者ではなく、指摘者である」

常陽銀行監督時代から一人一人が自覚を持った、魅力ある集団に成長することがチームの勝利や、個人技術向上の一番の近道だと言いつけてきました。

水戸一高野球部でも、魅力ある人間、応援され続けるチームに導いていければと考えております。そのためにも技術的な指導以上に、選手の考えや意思を尊重し、野球を楽しむことを基本ベースとして、チームの「指摘者」として関与してまいります。

小林 康伸 平成19年卒



平成19年卒の小林康伸と申します。この度のセンバツ21世紀枠の候補校選出、卒業生として大変誇らしく思っていました。惜しくも出場は叶いませんでしたが、皆さんの努力が、全国のOBを熱くさせてくれました。OBみんなが感謝しています。

私の水戸一野球部での3年間はレギュラーになったり控えになったりでした。現役時代の壊滅的な成績から1浪後に東京慈恵会医科大学に入学し、準硬式野球部で6年生まで活動しました。卒業後は慈恵医大の外科に入局し、現在は総合東京病院にて勤務しております。

私の専門は大腸癌の外科治療です。大腸癌はいまや新規に診断される患者数が世界第3位、癌による死因では第2位という一般的な疾患です。しかし、数ある癌の中で手術による治療が最大の効果を持つ、もう少し言うと手術の腕次第では治せる可能性が高い癌でもあります。自分の手で手術をした患者さんが、癌という死の恐怖から解放され、もとの生活に復帰できることは外科医最大の喜びですし、同時に私は自分の腕で勝負していくんだ、という気持ちで大腸癌治療を専門に選びました。

大腸癌の手術は多くが腹腔鏡により行われます。お腹を二酸化炭素で膨らませ、鉗子を使ってお腹の中で手術をする方法で、キズが小さく患者さんの負担が少ないというメリットがあります。これを進化させたのがロボット手術で、ダヴィンチ(Intuitive Surgical社)が有名ですね。ロボットというと何やら全自動で勝手に手術が進んでいくような気もしますが、鉗子がロボットにつながっているだけで、結

局は外科医が手動で動かすものです。ただしロボットによる動作のスケール補正がかかりますので、より精密な手術が可能になります。

腹腔鏡はいまやどこの病院でも広く行われていますので、我々医師の中でも大腸癌の腹腔鏡手術は簡単だ、などと言う人もいます。それは大きな間違いで、解剖学を理解して、癌を取り逃さない精密な手術でないと、癌を治すことはできません。腹腔鏡手術は学会による技術認定制度があり、毎年合格率が30%程度と狭き門ではありますが、合格すれば手術技術が世間に認められたことになります。自慢ではありますが(笑)、私はこの技術認定制度に最年少で合格しています。私は医師10年目、医者の世界でみるとまだまだ若手と呼ばれる世代ですが、同年代では自分の手術技術はトップレベルにあると自負しています。そう思うことで、半端なことではできないし、患者さんのために日々研鑽を積んでいけると思っています。

もちろん、私より活躍している水戸一野球部のOBが全国にはたくさんいます。でも、絶対的なレギュラーでも、成績優秀でもなかった私が今の仕事をできているのは、紛れもなく水戸一野球部での3年間があったからこそです。

皆さんは甲子園出場に手が届くところまで来た、間違いなく私の高校時代より努力を積んでいる人たちです。きつい練習の中でも、もう一歩でも踏ん張って前に進めたら、皆さんの将来には大きな夢や希望が満ちあふれていることと思います。願わくばみなさんの中から将来一緒に仕事ができる方が現れることを夢見て、これからも応援しております。



岡野 楽 令和2年卒



皆さんこんにちは。九州大学硬式野球部所属、令和二年卒の岡野楽です。九州大学では理学部に所属し、気象学の研究をしています。気象学を学ぶきっかけは、高校野球の時よく練習や試合前に天気予報に

注目していたことです。将来的には日本の気象業界で中心となるような人物になります。

ここからは大学野球について語りたいと思います。まずは、大学野球をするきっかけとなったのは、高校野球で公式戦に出られなかったことです。高2冬での海老沢コーチを中心とした打撃指導のおかげで練習試合では本塁打や長打を打てるようになりました。しかし、公式戦の出場機会は得られず、何のために2年と3か月の時間を過ごしたのかよくわからなく

なりました。私にとって、試合で使ってすらもらえない戦力外状態で野球が終わるのがすごく嫌でした。このため、レベルの上がる大学野球で公式戦に出て結果を出すことを目標に大学野球を始めました。

九州大学は、九州六大学野球連盟に所属していて、一昨年全日本大学野球選手権ベスト4の福岡大学をはじめとする六大学で構成されています。プロ野球選手では、阪神の梅野選手（福岡大学）、などが在籍していました。この環境で絶対結果を出して見返そうと思いました。また、チームの先輩にも全国大会に出場している人や、卒業後独立リーグに進みプロ野球選手として結果を出した選手もいて、よりやってやろうという気持ちになりました。入部後は、技術練習、トレーニング、座学、そしてrebaseで野球の指導をしていただきました。そして、昨年の3年の秋リーグでは開幕スタメンを勝ち取り、高校

ではできなかった公式戦出場ができ、全国大会に出た投手からヒットを打つこともできました。その中で、試合に出て悔しい思いをしたことも貴重な経験でした。

2024年度は、学生野球としては最後のシーズンになりますが、打撃タイトルを取りチームのリーグ優勝に貢献します。応援よろしくお願いします。大学野球は、一番人生で自由が利く貴重な時間にはかを犠牲にしても野球に打ち込みたいと思えるならばぜひ取り組んでほしいです。プロ野球や社会人野球に進みたい人はもちろん、単純にもっとうまくなりたいという気持ちで臨むのもよいと思います。後輩の皆さんの中で、選手として野球を続ける方がたくさん出てきてくれれば嬉しいです。

最後まで読んでいただきありがとうございました。

IV 令和5年度後半活動報告

事務局長 森 利克

前会報第31号（令和5年7月1日発行）以降の活動状況と野球部に関わる動きを時系列的に報告します。

- (1) 昨夏の茨城大会4回戦対霞ヶ浦戦を以て三年生5名が引退し、現チームは二年生13名、一年生13名（内マネージャー2名）計26名となりました。
- (2) 昨年の秋季県大会では準決勝まで進むことができました。これを区切りとして、3年間ご指導いただいた高橋直樹コーチ（平成21年卒）が退任され、後任として常陽銀行野球部元監督の渡辺敏崇さんが就任されました。
- (3) 野球部からの要請により、今年度はバックネット拡張工事費約18万円と光電式タイム計測器2台約11万円を支援しました。
- (4) 昨年12月8日（金）の選考委員会で21世紀枠の関東・東京地区推薦校に選出されましたが、1月26日（金）の最終選考委員会では残念ながら選抜大会出場枠2校には選出されませんでした。
- (5) 昨年7月以降に別表に示した14名の方々が入会されました。よろしくお願いします。
- (6) 2月28日（水）に行われた昭和38年卒同期会（38会）参加者約70名に三の丸倶楽部

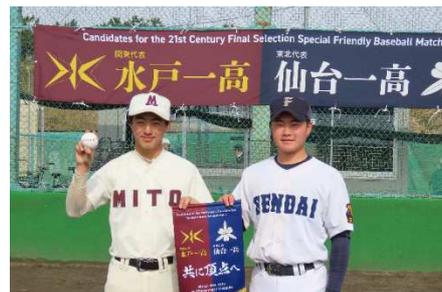


の活動を特別スピーチとして紹介し、入会案内しました。

- (7) 翌29日（木）には元マネージャーで今年の偕楽園梅まつり大使として活躍中の令和2年卒柳田綾乃さんを激励して来ました。なお、梅大使の皆さんは1月末に岸田総理大臣を表敬訪問されました。



- (8) 本号では長く野球界を取材されてきたスポーツ報知デスクの加藤弘士さん（平成5年卒）に今年の21世紀枠取材に関わる「魂を揺さぶる言葉」を寄稿いただきました。また、渡辺コーチからは就任挨拶を、シリーズ記事として平成19年卒小林康伸さんから外科医としての活躍を、令和2年卒の岡野楽さんから九州大学での活躍を寄稿いただきました。
- (9) 今シーズンは今月2日（土）帝京高校との練習試合からスタートしました。3月10日（日）には21世紀枠東北地区代表に選出された仙台一高との交流試合が仙台一高第二グラウンド（球場）で行われました。記念して新たに作成された横断幕の前で一点差の好





ゲームが展開され、両校の新たな絆が生まれました。準備し温かく迎えていただいた仙台一高関係者の皆様にお礼申し上げます。

(10) 県高野連から発表された今シーズンの公式戦予定は8ページの表の通りです。来月の春季大会は地区予選が免除され、県大会からの出場となります。

茨城大会の組合せ抽選会は6月19日(水)、開幕は7月6日(土)の予定です。これに合わせて、次の会報第33号は茨城大会応援特集号として7月1日(月)に発行する予定です。

(11) 本倶楽部の活動は幹事6名による幹事会で検討し進めています。また、決算報告の監査は元水戸一高硬式野球部父母の会会員の池永充宏氏にご協力いただいています。お礼申し上げます。

令和6年度年会費納入のお願い!

毎年お振り込みいただく年会費が令和5年度は例年より20%ほど減少しています。このままでは野球部支援、会報発行、ホームページ運用などの活動が制約されかねません。持続的な野球部支援のため、引き続き年会費の納入をお願いいたします。

別表 令和5年度後半入会者(令和5年12月末現在) (敬称略)

No	氏名	居住地	備考
1	飯田 陽久	水戸市	知道会会員(昭和33年卒)
2	石川 景一	北茨城市	知道会会員(昭和45年卒)
3	大貫 恒夫	茨城町	知道会会員(昭和40年卒) 再入会
4	川端 祐清	鹿児島県薩摩川内市	令和5年村田主将祖父
5	小室 昭洋	ひたちなか市	知道会会員父兄
6	白石 直人	水戸市	部員知人
7	中沢 不二夫	水戸市	知道会会員(昭和50年卒)
8	芳賀 幸洋	水戸市	知道会会員(平成3年卒)
9	前田 克也	高萩市	在校生父兄
10	三浦 彰	日立市	令和3および6年卒父母の会
11	皆川 真規夫	水戸市	知道会会員(昭和45年卒)
12	村田 くに	高萩市	令和5年村田主将祖母
13	森田 昇	仙台市	知道会会員(昭和39年卒)
14	横須賀 義章	ひたちなか市	知道会会員(昭和49年卒)

V

硬式野球部 名簿

(敬称略)

スタッフ	担当	氏名	教科・所属			氏名	守備位置	学年	投/打	出身中学	
	部長	井坂 拓海	社会(地理)			11	松川 航大	内野手	3	右/右	美野里
	監督	木村 優介	体育			12	宮川 陽充	外野手	3	右/左	友部
	コーチ	渡辺 敏崇	常陽銀行			13	渡辺 悠太	副主将 内野手・投手	3	左/左	双葉台
	顧問	小島 淳	国語			14	浅野 光春	内野手	2	右/右	大野
	顧問	野々下 奈都子	英語			15	大沢 凜太郎	副主将 内野手	2	右/右	下館
	顧問	鈴木 達也	附属中(社会)			16	岡野 梨渚	マネージャー	2		府中
	氏名	守備位置	学年	投/打	出身中学	17	小黒 瑞貴	外野手	2	右/左	笠原
1	津田 誠宗	主将 内野手	3	右/右	茨城大附属	18	小原 将義	捕手	2	右/右	大宮二
2	秋田 悠人	副主将 捕手	3	右/右	美野里	19	川上 敬太郎	投手	2	右/右	那珂湊
3	江口 倖大	投手	3	右/右	東海	20	古宮 寛之	投手・外野手	2	右/右	下根
4	大内 健太郎	外野手	3	右/右	勝田一	21	田中 宏樹	投手・内野手	2	右/右	水戸四
5	大内 康聖	捕手	3	右/右	那珂湊	22	手塚 爽太	内野手	2	右/右	大子西
6	小川 永惺	投手	3	右/右	世矢	23	戸田 然	外野手	2	右/左	玉里学園
7	鈴木 裕斗	投手	3	右/右	城西	24	埴 竜太郎	内野手	2	右/左	金砂郷
8	園部 晴大	内野手	3	右/右	勝田二	25	松崎 結愛	マネージャー	2		友部
9	鳥羽田 士恩	内野手	3	右/左	茨城大附属	26	米川 惟希	投手	2	右/右	水戸四
10	星 数馬	外野手	3	右/左	茨城大附属						※学年は新学年

令和5年 茨城大会

2回戦 (初戦) 令和5年7月15日(土)
 球場:ノブルホームスタジアム水戸(L100m・C122m・R100m)
 天候:曇
 試合時間:2時間9分(9:56~12:05)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
水戸一	2	0	0	0	0	0	3	1	0	6
水戸農	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3

出場メンバー

- 1番 ショート 津田 (2年)
- 2番 レフト 宮川 (2年)
- 3番 セカンド 園部 (2年)
- 4番 サード 村田 (3年)
- 5番 キャッチャー 秋田 (2年)
- 6番 センター 浅野 (1年)
- 7番 ライト 渡辺 (2年)
- 2回2/3ピッチャー
- 8番 ファースト 松川 (2年)
- 9番 ピッチャー 江口 (2年)
- 2回2/3ライト 大内(健) (2年)

終盤に逆転し初戦突破



三塁打:秋田(7回)
 二塁打:津田(1回) 宮川(1回・7回) 大内(健)(7回)
 単塁打:村田(1回) 浅野(1回) 江口(2回) 松川(5回) 津田(5回) 園部(7回)

三回戦 令和5年7月18日(火)
 球場:笠間市民球場(L95m・C120m・R95m)
 天候:曇
 試合時間:1時間44分(9:58~11:42)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
多賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水戸一	0	1	0	0	0	0	0	0	X	1

出場メンバー

- 1番 ショート 津田 (2年)
- 2番 レフト 宮川 (2年)
- 3番 セカンド 園部 (2年)
- 4番 サード 村田 (3年)
- 5番 キャッチャー 秋田 (2年)
- 6番 センター 浅野 (1年)
- 7番 ファースト 松川 (2年)
- 8番 ライト 大内(健) (2年)
- 9番 ピッチャー 小川 (2年)

小川君が12奪三振、完封勝利



二塁打:宮川(3回)
 単塁打:浅野(2回・4回) 大内(健)(2回) 小川(2回) 津田(8回)

四回戦 令和5年7月20日(木)
 球場:ひたちなか市民球場(L100m・C122m・R100m)
 天候:晴
 試合時間:1時間36分(12:50~14:26)

	1	2	3	4	5	6	7	R
水戸一	0	0	0	0	0	0	1	1
霞ヶ浦	0	0	2	4	0	2	X	8

出場メンバー

- 1番 ショート 津田 (2年)
- 2番 レフト 宮川 (2年)
- 3番 セカンド 園部 (2年)
- 4番 サード 村田 (3年)
- 5番 キャッチャー 秋田 (2年)
- 6番 センター 浅野 (1年)
- 7回代打 三浦 (3年)
- 7番 ファースト 松川 (2年)
- 8番 ライト 大内(健) (2年)
- 4回2/3ピッチャー 小川 (2年)
- 9番 ピッチャー 渡辺 (2年)
- 4回2/3ライト

Aシード校の壁厚く準々決勝進出ならず



二塁打:村田(7回) 秋田(7回)
 単塁打:浅野(2回) 松川(2回)

ネット配信ニュース拾い読み

【高校野球】21世紀枠でセンバツ出場するか 伝統校・水戸一が躍進した背景は?



母校・水戸一高を指導する木村監督は高校OB。学生野球の父・飛田徳州氏の肖像の横で、木村監督(右)と木村監督(左)が記念撮影。(取材:木村監督)

「ベースボール online」2024/1/6

水戸一高の野球とは何か。「学生野球の父」のスタイルが、根底にある。木村監督は言う。「飛田先生から伝わる『一球入魂』の精神を大切に、チームのテーマとしています。ウチの場合、場所、時間に制限がある中で1球、1日、1分、1秒にこだわる。私たちは、そこしかない。準備を突き詰めていけば、野球の勝負強さにつながる。今後の人生を見据えた場合にも、働き方改革が叫ばれている昨今、タイムマネジメントが大事になってきます」授業の平日の練習は約2



「THE ANSWER」2024/1/27

第96回センバツ高校野球(3月18日開幕・甲子園)の選考委員会が26日に開かれ、出場校32校が選出された。21世紀枠は別海(北海道)、田辺(和歌山)の2校が選ばれ、「学生野球の父」と呼ばれた飛田徳州氏の母校・水戸一(茨城)は落選。悲願のセンバツ初出場を逃した。毎年ひきこもごものドラマがある出場校発表の舞台裏。水戸一も伝統校であり、進学校ならではの「リアル」があった。「飛田先生のお参りをしてきた」「(水戸一の試合を)全試合見ているから」「あと5分……」。部員らに先駆け、21世紀枠の発表を聞いたのは同校OBたちだった。1954年夏に出場して以来の甲子園行きに期待を膨らませ、学校に集合。午後3

令和5年 秋季水戸地区一次予選

代表 試合日:令和5年8月23日(水)
 決定戦 球場:ノブルホ-ムスタジアム水戸(L100m・C122m・R100m)
 天候:曇 試合時間:2時間36分(13:31~16:17)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
水戸一	0	1	0	0	1	2	0	0	0	4
ウエルネス	2	4	0	1	0	0	0	3	X	10

出場メンバー

1番	ライト	宮川	(2年)
2番	キャッチャー	秋田	(2年)
3番	センター	浅野	(1年)
4番	レフト	小原	(1年)
5番	サード	園部	(2年)
6番	ファースト	松川	(2年)
7番	ショート	津田	(2年)
8番	ピッチャー	津口	(2年)
	2回1/3	渡辺	(2年)
	6回	小川	(2年)
9番	セカンド	大沢	(1年)
記録員		松崎	(1年)

二塁打:園部(6回)
 単塁打:小原(2回・4回・7回) 津田(2回・5回) 宮川(5回)



令和5年 秋季水戸地区二次予選

一回戦 試合日:令和5年9月11日(月)
 球場:県営球場(L91m・C117m・R91m)
 天候:晴 試合時間:2時間26分(11:19~13:45)

	1	2	3	4	5	6	7	8	R
中央	0	1	1	0	2	0	0	0	4
水戸一	0	0	1	1	0	8	0	1	11

出場メンバー

1番	ショート	津田	(2年)
2番	ライト	宮川	(2年)
	7回代打	大内(康)	(2年)
	8回ライト	大内(健)	(2年)
3番	センター	浅野	(1年)
	7回ピッチャー	渡辺	(2年)
4番	レフト	小原	(1年)
5番	キャッチャー	秋田	(2年)
6番	ファースト	松川	(2年)
	8回代打	古宮	(1年)
	サード	園部	(2年)
7番	セカンド	小川	(2年)
8番	ピッチャー	大沢	(1年)
	7回センター	鈴木	(2年)
	セカンド	手塚	(1年)
	7回代打	岡野	(1年)
	8回サード		
記録員			

二塁打:津田(1回)
 単塁打:松川(2回・6回) 園部(2回・6回)
 小川(2回・6回・7回) 津田(4回)
 小原(6回・8回) 秋田(6回) 古宮(8回)

代表 試合日:令和5年9月12日(火)
 決定戦 球場:笠間市民球場(L95m・C120m・R95m)
 天候:晴 試合時間:2時間3分(10:43~12:46)

	1	2	3	4	5	6	7	R
水戸一	0	0	1	4	4	0	7	16
水戸農	0	0	0	0	0	0	4	4

出場メンバー

1番	ショート	津田	(2年)
2番	ライト	宮川	(2年)
3番	センター	浅野	(1年)
	5回代打	古宮	(1年)
	6回ピッチャー	渡辺	(2年)
4番	レフト	小原	(1年)
	6回代打	星	(2年)
	6回レフト	鳥羽田	(2年)
5番	キャッチャー	秋田	(2年)
	7回代打	戸田	(1年)
	7回キャッチャー	大内(康)	(2年)
6番	ファースト	松川	(2年)
7番	サード	園部	(2年)
	7回セカンド	小川	(2年)
8番	ピッチャー	大沢	(1年)
	6回センター	大内(健)	(2年)
	セカンド	手塚	(1年)
	7回代打	松崎	(1年)
	7回サード		
記録員			

三塁打:小川(5回) 園部(7回) 渡辺(7回)
 二塁打:秋田(4回) 鳥羽田(7回)
 単塁打:大沢(3回・4回) 小川(4回・7回) 秋田(5回)
 松川(5回) 園部(5回) 大内(健)(7回)

令和5年 秋季県大会

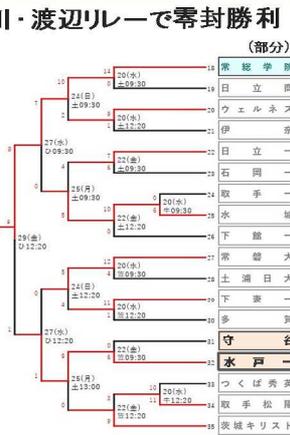
二回戦 (初戦) 試合日:令和5年9月22日(金)
 球場:笠間市民球場(L95m・C120m・R95m)
 天候:曇 試合時間:2時間31分(9:29~12:00)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
水戸一	0	0	0	4	0	0	0	2	0	6
守谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

出場メンバー

1番	ショート	津田	(2年)
2番	センター	戸田	(1年)
	8回ピッチャー	渡辺	(2年)
3番	ライト	宮川	(2年)
4番	ファースト	松川	(2年)
5番	キャッチャー	秋田	(2年)
6番	レフト	小原	(1年)
7番	サード	園部	(2年)
8番	ピッチャー	小川	(2年)
9番	セカンド	大沢	(1年)
記録員		岡野	(1年)

三塁打:園部(4回)
 二塁打:小原(8回)
 単塁打:戸田(4回・5回) 宮川(4回) 秋田(4回)
 小川(4回・6回) 大沢(4回・8回)
 津田(8回) 小原(9回)



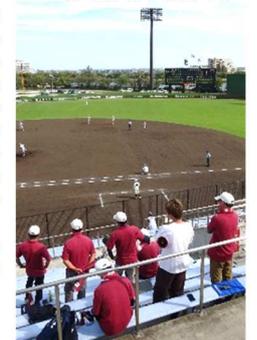
三回戦 試合日:令和5年9月25日(月)
 球場:Jcomスタジアム土浦(L99m・C122m・R99m)
 天候:晴 試合時間:2時間7分(13:03~15:10)

	1	2	3	4	5	6	7	R
水戸一	1	0	4	0	1	0	3	9
茨城キリスト	0	0	0	0	0	0	0	0

出場メンバー

1番	ショート	津田	(2年)
2番	センター	戸田	(1年)
	7回ピッチャー	渡辺	(2年)
3番	ライト	宮川	(2年)
4番	ファースト	松川	(2年)
5番	キャッチャー	秋田	(2年)
6番	レフト	小原	(1年)
7番	サード	園部	(2年)
8番	ピッチャー	小川	(2年)
9番	セカンド	大沢	(1年)
記録員		松崎	(1年)

三塁打:小川(5回)
 二塁打:津田(7回)
 単塁打:戸田(1回) 小原(3回) 小川(3回) 津田(4回)
 秋田(7回) 園部(7回)



準々決勝 試合日:令和5年9月27日(水)
 球場:ひたちなか市民球場(L100m・C122m・R100m)
 天候:曇・晴 試合時間:2時間29分(12:34~15:03)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
水戸一	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
常磐大高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

出場メンバー

1番	ショート	津田	(2年)
2番	センター	戸田	(1年)
3番	ライト	宮川	(2年)
4番	ファースト	松川	(2年)
5番	キャッチャー	秋田	(2年)
6番	レフト	小原	(1年)
7番	サード	園部	(2年)
8番	ピッチャー	小川	(2年)
9番	セカンド	大沢	(1年)
記録員		岡野	(1年)

単塁打:津田(4回) 小川(5回) 小原(7回) 戸田(8回)



準決勝 試合日:令和5年9月29日(金)
 球場:ひたちなか市民球場(L100m・C122m・R100m)
 天候:晴 試合時間:1時間59分(12:07~14:06)

	1	2	3	4	5	6	7	R
水戸一	0	0	1	0	0	0	0	1
常総学院	0	0	3	2	0	1	2	8

出場メンバー

1番	ショート	津田	(2年)
2番	センター	戸田	(1年)
	7回レフト		
3番	ライト	宮川	(2年)
4番	ファースト	松川	(2年)
5番	キャッチャー	秋田	(2年)
6番	レフト	小原	(1年)
	7回ピッチャー	渡辺	(2年)
7番	サード	園部	(2年)
	7回セカンド		
8番	ピッチャー	小川	(2年)
	7回センター		
9番	セカンド	大沢	(1年)
	7回代打	鈴木	(2年)
	7回サード	手塚	(1年)
記録員		松崎	(1年)

単塁打:津田(1回・3回) 宮川(1回・3回)
 小川(2回・7回)



県大会結果
 優勝 常総学院
 準優勝 鹿島学園
 第3位 水戸一
 水戸工

令和5年度後半 準公式戦・定期戦 結果

大会名	月	日	球場	結果	バッテリー	本塁打	三塁打	二塁打	単塁打
橋本・山野杯	9	30	水戸桜ノ牧	○5-4水戸桜ノ牧	江口・鈴木-大内(康)			浅野 渡辺2・大内(健)	浅野2・鳥羽田2・渡辺・大内(健)・大内(康)・江口・手塚
				●2-12土浦3(5回)	古宮・渡辺-小原			小原・古宮2・浅野・大内(健)・田中・渡辺	
	10	1	水戸農	●3-5石岡商(6回)	江口・鈴木-大内(康)・小原			渡辺 浅野	浅野・秋田・江口
				○3-1日立商(6回)	米川・鈴木-大内(康)・小原			浅野2・田中・手塚・秋田2・小黒・鳥羽田	
神無月杯		24	水戸葵陵	○9-4鹿島	鈴木・米川・江口・古宮-小原・秋田	渡辺	大沢	古宮・秋田	津田2・秋田・渡辺2・古宮・星・宮川・浅野
		26	笠間市民	●1-8水戸葵陵	小川・米川-秋田			渡辺	宮川2・園部
水商定期戦	11	26	水戸商	○8-7水戸商	小川・鈴木・米川・田中・古宮-秋田・大内(康)			浅野・津田・園部・宮川・秋田	戸田・津田・園部・宮川・秋田
水府倶楽部交流戦	1	2	水戸一	●2-3水府倶楽部	米川・鈴木・田中・古宮・小川・川上-秋田			宮川・園部	大内(健)2・戸田・秋田・渡辺

神無月杯



10/24 水戸葵陵G



10/26 笠間市民球場

令和5年度後半(R5/7/2~R6/3/17) 練習試合結果

月	日	球場	結果	備考
7	2	茨城県営	●4-6伊勢崎工	
			○10-8 "	
	9	取手一	●5-6取手一	
			○7-6 "	
8	29	石岡一	○7-0石岡一	
			○15-11 "	
	9	八千代松蔭	●1-6八千代松蔭	5回終了
			○9-1いわき光洋	
10	11	石岡商	●2-6石岡一	
			○12-6 "	
	14	太田西山	○14-4太田西山	
			○11-7日立一	
9	27	小山	○10-1小山	栃木県立
			○4-3 "	
	3	下妻二	○7-6下妻二	
			●0-6石橋	栃木県立
10	17	水戸葵陵	●4-5水戸葵陵	
			●3-8 "	
	29	水戸一	●2-6國學院栃木	
			●6-12 "	
11	4	土浦日大	●2-9土浦日大	
			●4-5八千代松蔭	
	5	八千代松蔭	○8-2甲府西	
			○8-3江戸川	
19	水城	●6-20水城		
		○5-1帝京安積		
3	2	帝京	●1-9 "	
			●2-8帝京	
	3	水戸一	○6-3湯本	福島県立
			●5-8 "	
10	9	東日本昌平	●5-9東日本昌平	
			●3-8利府	宮城県立
	10	仙台一第二G	●5-6仙台一(10回タイブレーク)	
			○7-6 "	宮城県立
17	水戸一	○13-1匠瑛	千葉県立	
		○6-0 "	5回終了	



◇編集後記 大谷の話題が尽きない。今でこそ二刀流を否定する声は聞こえないが、彼が世に出るときは、懐疑的な意見も多く聞こえたものだ。そもそも日本人メジャーのパイオニアとも言うべき野茂が海を渡るときは、石持で追われるときであった。新しい何かを始めるときは、反発や抵抗は想像に難くない。部員のみならずには常識や前例にとらわれない柔軟な考えを持って夢を追いかけて欲しい。まして、あの球場は夢ではなく現実的な目標になったのだから。(照沼)

令和6年度 公式戦予定

月	日	曜	大会名	回戦	備考
4	10~	水	春季地区予選		免除
	17	水	春季県大会	組合せ抽選会	
	20~	土			
5	3	祝	春季県大会	準決勝	県代表決定戦
	5	祝		決勝	
	18~	土	春季関東大会		群馬県
6	26	日		決勝	
	19	水	全国選手権茨城大会	組合せ抽選会	ヒロサワシティ会館
7	6~	土	全国選手権茨城大会	開会式・1回戦	ノブルホームスタジアム
	27	土		決勝	
8	31~	水	秋季地区一次予選	組合せ抽選会	
	7~	水	全国選手権	開会式・1回戦	
	23	金		決勝	
	19~	月	秋季地区一次予選		
9	4	水	秋季地区二次予選	組合せ抽選会	
	9~	月	秋季地区二次予選		
	17	火	秋季県大会	組合せ抽選会	
10	21~	土			
	30	月	秋季県大会	準決勝	県代表決定戦
	2	水		決勝	
11	26~	土			神奈川県
	2	土	秋季関東大会	準決勝	
11	3	日		決勝	

M 三の丸倶楽部

顧問: 稲葉 節生(元茨城県教育長、知道会会長)
 会長: 鬼澤 邦夫(常陽銀行元会長)
 事務局長: 森 利克
 幹事: 照沼 貞夫(H20年卒父母の会)
 鹿島 陽夫
 船橋 信正(水府倶楽部幹事長)
 飯田 芳久
 高村 純平(R5年卒父母の会)
 監査役 池永 充宏(H23、24年卒父母の会)



==== 会員を募集しています =====
 ◇どなたでも入会できます。
 ◇特典: 会員帽の配付(入会時)、会報(年2回)の送付、ホームページ「試合予定」・「試合結果」詳細の閲覧など
 ◇年会費: 一口 3,000円(何口でも可)
 ◇振込先: 常陽銀行本店営業部
 普通 2945619
 サンマルクラブ カイケイ カシマタカオ
 ◇手続き: 氏名、住所、電話番号、メールアドレスを下記までご連絡ください。
 森利克 TEL : 090-3315-1351
 E-mail : mfhsbcba@net1.jway.ne.jp
 又はホームページ(http://sannomaru-club.com)からご連絡ください。